



地域の災害医療の 中心となる病院を目指して

8月度チーム活動報告

テーマ：火災想定（初期消火・避難誘導）

日時：8月16日（土） 13:00～16:00

参加者：57名

医師1名/看護師26名/コメディカル9名/
事務21名

発行日：2014.8 編集・発行：川崎幸病院 防災対策チーム

今回は、火災を想定した訓練です。病棟(9階)と3階放射線科で火災が発生したことを想定し、火災発見から通報、患者避難誘導、初期消火、患者・家族・職員の安否確認まで一連の流れに沿って、本番さながらのシミュレーション訓練を行いました。



訓練に先立ち

訓練に先立ち、防災センター築紫副長に、火災時の初動や避難のポイント、副受信機・防火区画・排煙装置などの当院の防火設備についての講義をしていただきました。

◆ アクションカードについて

EMT科からは、アクションカードについての講義がありました。アクションカードとは、災害時に各職員がすべき行動・果たすべき役割を簡潔に記したカードです。

災害発生時に、各地区長がアクションカードを職員に提示し指示することで、各職員が自らの行動を速やかに理解し、有機的な行動を行えることが期待できます。

◆ 搬送実技(徒手搬送/資機材を使った搬送)

引き続き、EMT科による患者搬送方法の実技研修を行いました。

災害時にすべての患者をベッドで搬送すると、他の患者・家族・職員の避難を妨げてしまう恐れがあります。そのため、徒手搬送や資機材を使った搬送方法が求められてきます。

また、病室内での出火など患者を緊急に避難させなければならないケースでは、患者の状態と搬送対応可能な職員の人数に合わせて迅速に搬送方法を選択していかなければなりません。

非常時にもすぐに身体が動くように、実技研修をとおして各搬送法をしっかりと学んでいただきました。



シミュレーション訓練

放射線科火災想定訓練

3階放射線科では、オープン検査で来院された独歩/車椅子患者、検査中(ガイド下穿刺/イレウス管挿入)の患者の避難誘導、初期消火、人員の安否確認の訓練をしました。3階の訓練のようすは、下記にまとめています。

病棟火災想定訓練

5階講義室に重症ベッド6床、一般ベッド6床の模擬病棟を設け、12名の患者の避難誘導をしました。訓練では、床頭台付近からの出火による緊急避難を想定し、患者の病態によって搬送方法を迅速に判断することが求められました。

① 火災発生

3階の火災報知機が作動し、サイレン音とともに院内放送が流れます。職員は副受信機を確認し、火災発生場所を特定します。

② 火災発見



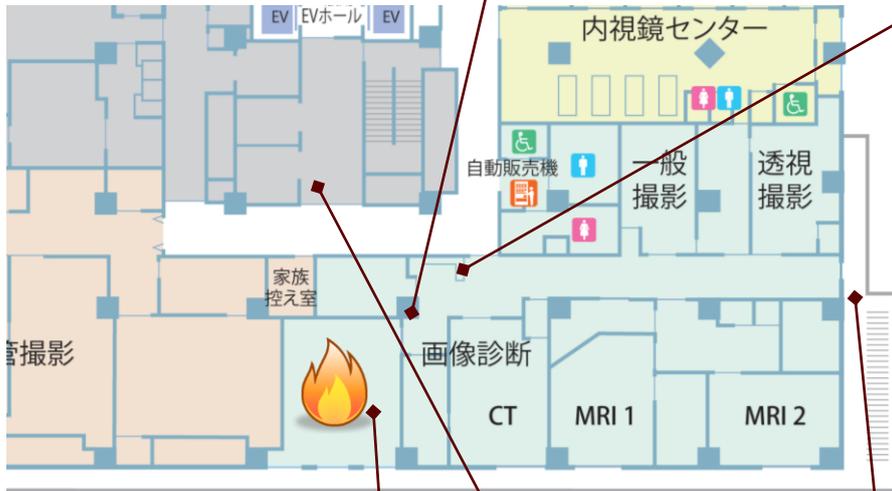
火事だあ～

火災現場を発見！「火事だ～」と大声でまわりの人間に伝えながら、地区長の袴田科長に報告します。

③ 防災センターに通報



職員の報告を受け、地区長は火災現場を確認。防災センター(内線1000番)に通報をし。応援人員の要請をします。



”3階で火災発生”の放送が流れます

④ アクションカードで職員に指示

地区長はフロア職員にアクションカードを提示し、患者避難搬送、初期消火の具体的な指示を出していきます。



⑤ 指示に従い行動

地区長の指示に従いフロア職員と応援職員が行動を開始。

◆ 初期消火班



消火班は、消火器で初期消火を開始。応援職員も地区長の指示を受け、消火用散水栓で初期消火を応援します。消火活動時は、マスクやタオルなどで口・鼻を覆い自身の安全確保に注意します。

◆ 患者避難誘導班



独歩患者は非常階段で誘導。ストレッチャー・車椅子対応患者は2階エレベーターホールへ



他部署からの応援者と協力し、ガイド下穿刺の患者など、患者の状況に見合った方法で2階エレベーターホールまで搬送します。

⑥ 応援職員への指示

地区長は火災発生時の放送を聞いて参集した職員に指示を出し、状況を判断し速やかに人員配置をしていきます。



⑦ 人員の安否確認

逃げ遅れた患者、家族、職員がいないかフロア内をくまなく確認。更衣室で逃げ遅れた患者を救助しました。



消火実技訓練

最後に、発火装置で実際に火を起し、参加者全員で水消火器と消火用散水栓で消火実技を行いました。



訓練を振り返って

訓練後のアンケートを見ると、「火災時の初動を理解することができた」との声が多く、「自部署で振り返りをしていきたい」という前向きな回答もありました。一方では、防火区画や防災設備の理解が充分ではない職員が大多数を占めていました。また、患者役を担当した職員からは、「搬送時にスタッフからの声かけ、説明が少なく不安に感じた」との声もありました。火災時の初動の理解も深まり、多くの課題も洗い出すことのできた、有意義な訓練になったのではと思います。